

クラウドのパワーを取り入れる: Power Systems と Ubuntu Linux

POWER8 プロセッサ搭載サーバーで、Ubuntu Server 14.04 LTS を公式サポート

ハイライト

- IBM® が、Ubuntu 14.04 LTS を、POWER8 プロセッサ搭載サーバーで公式にサポート
 - Ubuntu により、世界で最も広く使用されている OpenStack プラットフォームと 100 を超える主要なクラウド・サービスが POWER8 プロセッサ搭載サーバーで利用可能
 - Ubuntu Linux は、プロビジョニング、実装、管理を自動化する実績ある時間節約型ツールチェーン
-

コンピューティング環境が複雑化する中、オープン的重要性がかつてないほど高まっています。そして、革新のスピード、統合、選択肢の広さの違いによって、オープン・コンピューティングはますます不可欠なものになっています。

オープンソースの要は革新のスピードであり、新しいテクノロジーを素早く活用することで、製品、市場、ビジネス・モデルに本質的な変革を起こせるようにします。統合はオープン・スタンダードに関連しており、新しい製品やサービスと既存の製品やサービスの徹底した相互運用性によって運用を簡素化し、効率を高めます。選択肢の広さは、現在から将来にわたって IT に柔軟性、自由、俊敏性をもたらすことで、コストの削減と効率性の向上を実現します。

Ubuntu Server は、オープンソース・クラウド・プラットフォームである OpenStack における最初のリファレンス・オペレーティング・システムであり、OpenStack 実装の基礎となる OS として世界中で選択されています。そして、クラウド・コンピューティングやスケールアウト型コンピューティングを検討しているお客様向けに、Ubuntu 14.04 LTS は POWER8 プロセッサ搭載サーバーとともにオープンソース・クラウド・サービスのシンプルかつ迅速な実装と管理を実現します。また、Ubuntu は、Canonical 社 (Ubuntu の開発支援企業) と IBM によってサポートされています。

簡単になった OpenStack

OpenStack は、オープンソース・クラウドの実装を世界的にリードしています。大半のプライベート・クラウド環境は、OpenStack を基礎として構築されており、主要なパブリック・クラウドの基盤でもあります。

それでも、クラウド・コンピューティングは複雑さを伴うことがあり、OpenStack でさえ、導入において難題をもたらすことがあります。Ubuntu は、マシンのプロビジョニングからクラウドそのものの作成、そして稼働後のサービスの管理に至るまで、クラウド・コンピューティング環境構築における、あらゆる段階のあらゆる課題に対応するツールで構成された OpenStack 対応のエンドツーエンドの導入ソリューションです。このツールチェーンは以下で構成されています。

- Metal-as-a-Service (MAAS) – マシンの検出、プロビジョニング、リモート環境からの構成を、ほんのわずかの手動入力で実現するプロビジョニング・パッケージ
- Juju – サービスの構成とベスト・プラクティスの実装情報を Charm と呼ばれるスクリプト群にカプセル化する画期的なサービス・オーケストレーション・ツール。Charm は、OpenStack そのものから Hadoop、MongoDB、MySQL、その他数百のアプリケーションに至るまで、あらゆるワークロードの実装に使用可能
- Landscape – 物理環境でも仮想環境でも、クラウド内のすべてのノードを視覚的に監視、管理できる Canonical 社のシステム管理ツール



上記のツールはすべてブラウザ・ベースであるため、クラウド環境へのネットワーク・アクセスにより、どのマシンからでも操作できます。



「POWER8 において Ubuntu 14.04 LTS、Ubuntu OpenStack、Juju を採用するという IBM の発表により、お客様が求めるスケール、信頼性、パフォーマンスがもたらされると信じています」

– Mark Shuttleworth (Canonical社、創設者)

パワーと柔軟性を兼備

2005年にリリースされた Ubuntu は、Canonical 社の支援のもと、今もなお無償のオープンソース・オペレーティング・システムとして公開されています。Ubuntu は、x86、ARM、POWER のアーキテクチャーで稼働し、スケールアウト型コンピューティングに必要な柔軟性を提供するエンタープライズ・クラスの Linux ディストリビューションです。そして、Power Architecture は、スケールアップとスケールアウトの両方のコンピューティングで使用できる実績あるデータセンター・アーキテクチャーです。POWER8 プロセッサ上の Ubuntu により、クラウド、クラスター、スケールアップ、スケールアウトを網羅する柔軟なインフラストラクチャーを構築できるとともに、実装の長期サポートも保証されます。

長期にわたるサポート

Ubuntu 14.04 LTS は、5年間のサポート期間が設定された長期サポート・バージョンです。すなわち、Canonical 社は、2019年4月まで Ubuntu 14.04 LTS のサポートを保証します。この保証は、OpenStack の Icehouse リリースと Ubuntu 導入ツールチェーン全体に適用されます。

IBM をお勧めする理由

Ubuntu Linux for Power には、ゼロから構築された約4万のバイナリー・パッケージが組み込まれています。POWER8 プロセッサ・アーキテクチャーでは、通常、再コンパイルして稼働するだけで、既存の Linux ソフトウェアを Power Systems に移植できます。2014年4月17日にリリースされた Ubuntu 14.04 LTS は、POWER8 プロセッサを搭載する IBM Power Systems の Linux 専用サーバーをサポートします。データ・アナリティクス向けの MongoDB、Elasticsearch、Cassandra であっても、クラウド・インフラストラクチャー向けの OpenStack であっても、Platform as a Service 向けの Cloud Foundry であっても、Juju により、Power Systems 向けに包括的なソリューションをすぐに提供できます。

詳細情報

POWER8 プロセッサを搭載する IBM Power Systems で公式にサポートされるようになった Ubuntu Server 14.04 LTS の詳細については、IBM 営業担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。

- ubuntu.com
- ibm.com/systems/jp/power/

© Copyright IBM Corporation 2014

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Produced in Japan
June 2014

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、Power、POWER8、Power Architecture、および Power Systems は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

本資料の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。

本資料の掲載情報は特定物として現存するままの状態を提供され、第三者の権利の侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任をなして提供されています。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。



Please Recycle